

新たな仲間と対面

山村留学生第20期生対面式

県内外から只見高校へ進学する山村留学生第20期生9人の対面式が4月8日、只見振興センターで行われました。

留学生の自己紹介では、「地域のイベントに積極的に参加したい」、「新たな仲間と共に3年間を楽しみたい」、「自然の中でのびのび生活したい」などの学校生活の目標や意気込みが発表されました。式後には、お互いに打ち解け合い、新たな仲間との一歩を踏み出しました。



▲只見町山村留学生第20期生の皆さん

写真展「只見の自然と暮らしを撮る」

オープニングセレモニーを開催

ブナセンター友の会写真展「只見の自然と暮らしを撮る」のオープニングセレモニーが4月10日、ただみ・ブナと川のミュージアムで開催されました。

友の会会長の目黒吉久さんは、「写真展が只見町の生活や文化を多くの人に知っていただくきっかけになって欲しい。」とあいさつをされました。

※写真展詳細記事 P13



▲あいさつをされた目黒会長

鳥獣被害から守る

鳥獣被害対策実施隊・有害狩猟鳥獣捕獲隊編成式

只見町鳥獣被害対策実施隊及び只見町有害狩猟鳥獣捕獲隊編成式が4月13日、只見町役場で行われました。隊員を代表して3地区の分隊長に実施隊員辞令書と捕獲隊員登録証が交付されました。

鳥獣被害対策や捕獲活動のために、隊員の方が農地や敷地に入ることがありますので、ご協力をお願いします。



▲辞令書を受取る深津和枝さん

重点事業を報告

町政報告会を開催

当年度の重点事業などを説明させていただく町政報告会が4月20日、朝日振興センターで行われました。

報告会では、集落座談会の開催、診療所の診療体制、有害鳥獣対策補助事業などについて町担当課から説明した後、各区長から事業に対する質問が挙げられ、活発な意見交換の場となりました。

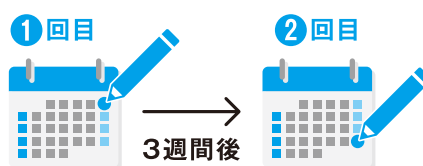


▲各区長と町担当課長などが出席しました。

コミナティ®(ファイザー社)を接種予定の方へ

新型コロナウイルスワクチンを受けた後について

ワクチンは通常、
3週間の間隔で2回接種します。



- 2回目の予約方法については、1回目に受けた医療機関や市町村の案内をご確認ください。
- 接種後に現れた症状の種類によっては、2回目の接種は控えた方がよいこともあります。接種後に気になる症状が現れた方は、2回目を受けるかどうかも含めて、ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医にご相談ください。

ワクチンを受けた後も

マスクの着用など、感染予防対策の継続をお願いします

ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、他の方への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていません。また、ワクチン接種が徐々に進んでいく段階では、すぐに多くの方が予防接種を受けられるわけではなく、ワクチンを受けた方も受けていない方も、共に社会生活を営んでいくことになります。

このため、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いします。

具体例)

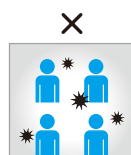


密集場所

「3つの密(密集・密接・密閉)」の回避



密接場面



密閉空間



マスクの着用



石けんによる手洗い



手指消毒用アルコールによる消毒の励行